

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.29 土壌改良補助事業(生産基盤整備事業)			担当課	農政課			予算費目名	款	項	目	
								06	01	03		
事業概要 及び目的	同一農作物の連作による「いや地現象」の改善を図り、病害虫駆除のために購入した農薬等の一部について補助する。			成果 目標	成果指標	土壌改良の実施農家数、土壌改良の施用面積	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
					計画値	農家数全て119戸 施用面積全て73ha	予算額(単位:円)	4,500,000	4,057,898	4,540,000	(10,000,000) (生産基盤整備事業一括)	
					決算額(単位:円)	4,146,024	4,057,898	5,213,614				
事業の 位置づけ	章	4	活気あふれるいきいきとしたまち	★左記施策(号)との結び付き 露地野菜、指定野菜に限定せず、園芸農産者も対象としており、幅広く農産物の生産振興が可能となる。	従事職員数	1	1	1				
	節	1	商業、工業、農業の振興		従事延べ日数	5	5	5				
	項	1	商業、工業、農業の振興		民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし						
	号	3	農業の振興			相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等 形態は? :						

2. 進捗状況

				平成21年7月31日記入					平成22年6月9日記入					平成23年4月20日記入
年度	22年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・土壌改良を実施した農家102戸の使用したDD、 テロン等の使用薬剤等購入費の1/2、4,164,024円を 補助した。 ・ ・				・土壌改良を実施した農家99戸の使用したDC、 トクロール等の使用薬剤等購入費の1/2、4,057,898 円を補助した。 ・ ・				・土壌改良を実施した農家106戸の使用したDC、 キルパー等の使用薬剤等購入費の1/2、 5,213,614円を補助した。 ・ ・					
継続している 事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
未着手事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
改善案	成果指標 実績値 102戸 達成率 86% 67ha 91%				成果指標 実績値 99戸 達成率 83% 95ha 130%				成果指標 実績値 106戸 達成率 89% 82ha 112%					

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。 平成21年7月31日協議実施					平成22年6月9日協議実施					平成23年4月26日協議実施
今後の方向性	成果の方向性				成果の方向性				成果の方向性					
	拡充				拡充				拡充					
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	現状維持			○	現状維持			○	現状維持			○		
	縮小				縮小				縮小					
方向性を実現するため実施すること(改革案)	休廃止				休廃止				休廃止					
	休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性					
前年度改革案の実施状況	★上記を選択した根拠 露地野菜の圃場のみでなく、施設園芸においても実施されており、施設園芸化促進のためにも継続していく方針である。				★上記を選択した根拠 露地野菜の圃場のみでなく、施設園芸においても実施されており、施設園芸化促進のためにも継続していく方針である。				★上記を選択した根拠 露地野菜の圃場のみでなく、施設園芸においても実施されており、施設園芸化促進のためにも継続していく方針である。					
	農協との連携を強め、実施農家数及び施用面積の維持を図る。				農協との連携を強め、実施農家数及び施用面積の維持を図る。				平成23年度予算額10,000,000円は、補助金の見直しにより、①都市農業振興活動支援事業(・都市農地環境保全事業補助金・生産組織活動費補助金) ②土壌改良補助事業 ③軟弱野菜等試験展示圃補助事業 ④野菜指定産地振興対策事業 ⑤ちばのオリジナルブランド産地づくり支援事業 ⑥共撰・共販支援事業 の6事業7補助金を整理統合し、都市農業支援事業として予算計上した。					
■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。						